

未統合記録の全体像〔平成22年6月〕

(修正前)

- 18年6月からの統合済み件数「4」は、1460万件【19年12月より1150万件増加】（うち「名寄せ特別便」の送付対象「5」は、589万件）
- その他一定の解明がなされた記録「1」～「3」は、1572万件【19年12月より332万件増加】
- 今後解明を進め、一定の時点において開示等を検討する記録「7」は、988万件【19年12月より1457万件減少】
- 住基ネットの活用等により、486万件的の解明作業が進展「6」

記録の内容	平成19年12月		平成22年6月		増減 (万件)	増減の主な要因、備考
	(万件)	割合	(万件)	割合		
1 死亡が判明した者等の記録	1,550	30.4%	3,032	59.5%	1,482	・ 解明作業の進展による増
① 死亡の届出がされている記録等	360	7.1%	649	12.7%	289	
② 住基ネット調査で「5年以内死亡者」と判明した記録	360	7.1%	404	7.9%	44	
③ 既に死亡している受給者等の記録との突合せで該当した記録			66	1.3%	66	
2 脱退手当金の受給等により新たな受給に結びつかないと考えられる記録	460	9.0%	564	11.1%	104	・ 解明作業の進展による増
3 5千万件中、複数の手帳記号番号を保有していると考えられる者の記録（重複分のみ計上）	420	8.2%	359	7.0%	-61	・ 記録の統合等の進展による減
4 平成18年6月1日以降基礎年金番号に統合済みの記録	310	6.1%	1,460	28.7%	1,150	・ ねんきん特別便の送付や日々の相談・裁定等を契機として、記録の統合が進んだことによる増
5 名寄せにより基礎年金番号の記録と結びつく可能性があり、「名寄せ特別便」を送付した記録（「4」計上分を除く）	1,100	21.6%	589	11.6%	-583	・ 記録の統合が進んだことによる減
① 年金受給者との名寄せ	300	5.9%	188	3.7%	-147	（※名寄せは1172万件が最終結果のため、「増減」欄は1172万件からの減少数）
② 被保険者との名寄せ	800	15.7%	429	8.4%	-417	
6 解明作業が進展中の記録			486	9.5%	486	・ 解明作業の進展による増
① 氏名等の補正処理が完了した「漢字カナ変換の使用により名寄せされなかった記録」			77	1.5%	77	・ このうち基礎年金番号の記録と結びつく可能性がある記録等について「記録確認のお知らせ」を送付
② 住基ネット調査で「生存者」と判明した記録			307	6.0%	307	
③ 旧姓データを活用した調査により特定された「婚姻等により氏名を変更していると考えられる者の記録」			74	1.5%	74	
④ 払出簿による氏名等の補正後に、基礎年金番号の記録と結びつく可能性がある記録			28	0.5%	28	
7 今後解明を進め、一定の時点において開示等を検討する記録	2,445	48.0%	988	19.4%	-1,457	・ 解明作業及び記録の統合が進んだことによる減 ・ 各種解明作業を行うとともに、一定の時点において開示等により解明・統合を進めることを検討
計	5,095	100.0%	5,095	100.0%		

○ 「平成19年12月」は、平成19年9月14日時点のデータ（ただし、統合済み記録数は11月9日時点、名寄せ件数は12月11日時点）をベースに作成

○ 「平成22年6月」は、平成22年6月2日時点のデータをベースに作成